

学校づくりへの協働 ～チーム城東の構築に向けて～

校長 川口 真澄

風薫る 5 月、青空と若葉が美しい季節となりました。家庭訪問、面談期間におかれましては、御協力いただき、ありがとうございました。御家庭での様子や子供の伸長のための御意見、御要望をお伺いすることができました。また、4 月 13 日の全校保護者会には、参加率 80%と多くの皆様に御参加いただき、心よりお礼申し上げます。お忙しい中、御来校いただきましたことは、本校への期待と開校 1 年目の教育環境、教育指導への対応を「しっかり」というお声と受けとめ、日々の指導の充実と保護者の皆様とのつながりを通しての「学校づくり」に全力で務めねばと、教職員一同気を引き締めています。

「指導体制の充実と連携整備に向けたチームとしての学校」

入学式、新入生歓迎会、避難訓練等での子供達の落ち着いた様子を見て、これまでの家庭教育と就学前機関、前籍校での指導の積み重ねが子供達の表情に表れていたと感じます。御準備いただいた教育支援ファイルや S B 等安全に関する資料、保健に関する配慮事項等の引継ぎを 4 月当初から教員間、学校間で行っています。それらの「つながり」を十分に活用し、学校と御家庭、関係機関や教育施設、医療機関等と連携を図り、「チームとして」さまざまな人材や地域関係者、関係機関等に「城東特別支援学校」の「学校づくり」に参画していただきたいと考えています。本校におきましても、保護者、地域の方々、臨床発達心理士や言語聴覚士、スクールソーシャルワーカー等の専門家、就学前施設関係者等の方々にも協力をお願いしています。チーム城東の構築により、「高い専門性に基づくチーム体制」を整え、教員の専門性の向上と発揮につなげます。学校と家庭、地域との連携・協働によって、共に「子供を伸ばす」ことを支えていく体制を作り、子供の状況等に応じた教育活動に重点を置いて取り組んでいきます。

「危機管理に向けたチームとしての学校」

去る 4 月 14 日、17 日未明に熊本県内を震源とする大きな地震が発生しました。改めて、被害に遭われた方へ心からお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りいたします。

現地では、ようやく学校再開と報道されていますが、避難所としての役割は継続されたままでの学校再開となっています。東日本大震災の時にも、多くの帰宅困難児・者が都立学校へ避難しました。災害時の学校施設への防災面での期待と役割、障害のある子供達への安心と安全への対策は、日頃からの地域と学校との連携の在り方、関係諸機関との連携の重要性を改めて浮きぼりにし、その連携構築や対策に向けて、新設校である本校は全教職員がその重要性を意識し、発信していかねばなりません。

そこでまず 7 月までは、全ての避難訓練を江東特別支援学校と合同で実施し、校舎内での児童・生徒の安全はもとより、訓練及び安全確認体制を両校全教職員で連携して進めています。また 8 月には、大島新校舎の管轄となる城東消防署等との合同訓練を実施し、新校舎における安全管理に関する体制を整え、9 月以降も警察や消防、地域と共に計画、整備していきます。

「安心・安全な」学校づくりには、本校教職員の安全配慮義務に対する意識の醸成と共に、新しい地域、関係機関との協力体制を「チームとして」構築することが必要です。学校と警察や消防、福祉機関等との連携・協働により、生徒指導や子供の健康・安全等に組織的に取り組んでいきます。

「チーム城東」の構築に向けてのさまざまな取組みを今後も紹介してまいります。